

2011年秋学期

# KCJS ニュースレター

創刊号



## 第一回 ボーリング大会開催！ スリリングな能力の勝負

10月11日、KCJSの留学生と日本語の先生と一緒にROUND 1というボーリング場へ行って、ボーリング大会をしました。

ボーリング大会の前に授業が20分あったので、行く前に漢字の小テストをしなければいけませんでした。その後、皆は集まってタクシーに乗りました。(貧乏な学生なので、タクシーに乗るのはめずらしいからちょっとワクワクしました!) ROUND 1に着いてから、ロビーで待ちながら壁に書いてあるおかしい英語を読みました。面白かったです。

大会が始まる前に、「今日はセシルさんの誕生日です!」というお知らせがありました。にぎやかに「ハッピーバースデー」を歌ってから、ボーリング大会が始まりました! 皆は3人か4人のグループに分かれて、ボーリングをいっぱい楽しみました。

最後に、1位から3位までの人は賞品をもらいました! セシルさんは誕生日だったのに負けてしまったけど、負けたから特別な賞品をもらいました! 私たち留学生はもう仲良しでしたが、皆と一緒にボーリングをするという経験を通して、もっともっと仲良くなりました。それから先生たちともボーリングをして、先生たちも普通の人間だと分かったので、うれしかったです。(アダム・ロバーツ サウス大学)

写真左: 181点で1位に輝いたニコラス・バラダさん(アーモスト大学)

写真右: 始球式で熱投するセシル・デラレンティスさん(バーナード大学)

## 今後の予定

### 同志社 EVE 祭 11/26-28

同志社大学の創立記念日である11月29日を祝し、11月1日から28日までの同志社大学生による催しの総称。

### Sakaki Mango さん 講演 11/30

リンバ奏者。アジア、アフリカを漫遊しタンザニアのザウオセにリンバを学ぶ。リンバ、ムビラ、ンゴマなど親指ピアノを駆使してエンターテインメント性あふれるライブを繰り広げている。

## 祝！刊行！

2011年秋学期も残すところ数週間となりました。今学期より、KCJSを支えてくださっている皆様に学生の様子をお伝えすべく、ニュースレターを発行することとなりました。まだまだ手探りではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## CIP BLOG 開始！

今学期より、CIPの活動内容を学生自身が紹介するブログを開設、公開しております。ぜひご覧ください。

<http://kcjs.jp/cip/>



写真提供: アドリ・ライネキさん(コーネル大学)  
大阪心斎橋にて

# 岡山ホームステイ旅行

ドレイ・マッケンジー (ボストン大学) 【文、写真】

私は岡山の山間にある落合という町に行って、杉本さんというお宅にお世話になりました。たくさん楽しい思い出がありますが、今日は、お父さんの「雪の渡り鳥」のリハーサルに行ったことについて書きたいと思います。

その前に、お父さんとお母さんはびょうしだから、お母さんは私の髪の毛を切ってくれました。後で、新しいヘアスタイルがきれいだと思います。髪の毛を切ってもらった後で、お父さんの友だちに会うために「雪の渡り鳥」のリハーサルに行くと言いました。「雪の渡り鳥」というしばいは男の人だけでした。落合の秋祭りでえんじることになっていました。

家を出る前に、コンビニに行きました。お父さんはコンビニで私がお父さんの友だちにあげるためのビールを買ってくれました。リハーサルの場所に着くと、男の人はぶしの服を着ていました。最初は日本語で話すのがこわかったです。でも、ビールをテーブルの上におきながら、「あ、おいしくない物ですが。どうぞ。」と言いました。私はみんなに笑われました。

その前に、日本語でひにくを言えないと思っていました。でもそのことで、男の人が私のことを気に入ってくれたと思います。その男は私に英語で話しかけてきました。とてもおもしろかったです。他の男は英語でお父さんのことを「シスター」と言ったから、私は笑いました。いつも、日本人は私に「日本語が上手ですね。」と言うけど、それが信じられません。そして、私は英語でその男の人に「英語が上手ですね。」と言いました。もちろんひにくです！

日本語でひにくを言っても大丈夫ですから。言ってみてください。



写真提供: アドリ・ライネキさん(コーネル大学)  
奈良公園にて



写真提供: ジェームス・チャンさん(コーネル大学)  
日本アルプス槍ヶ岳にて

# 岡山ホームステイ旅行

アン・チュンハラックチョート(タフツ大学)

岡山の旅行はとてもよかった。中村先生のおかげで、岡山の旅行をする上で必要な表現を色々覚えて、ホストファミリーにお土産としてゴディバのチョコレートと抹茶味クッキーを買った。

私は浅口のグループに入ったが、実は、ホストファミリーは倉敷に住んでいた。私はホストファミリーの家に着くとすぐに寝室で休憩した。その後、おじいさんが育てた野菜が入ったカレーライスを食べた。とてもおいしかった。夕食を食べながら、ホストファミリーのおばあさんとおじいさんとお母さんと色々な話題について話した。

岡山の旅行では、色々なことをしたが、一番いい思い出は、琴を弾いてみたことだと思う。その時、琴のクラスに行くと、10歳ぐらい女の子達が「桜」をはじめ、色々なきれいな曲を弾いてくれた上に、私に琴の弾き方を少し教えてくれた。私は琴を弾いたことがなかったから、私にとって、それは本当にすばらしい時間だった。

岡山では温かくてとても親切なホストファミリーをはじめ、色々な人にお世話になり、いい経験ができた。岡山から帰って以来、ホストファミリーや琴を弾いてくれた生徒さんなどのお世話になった人に感謝している。それに、岡山の旅行が出来たのは、KCJSのスタッフと先生のおかげにほかならない。この旅行を計画してくださって、どうもありがとうございました。

## 宇宙人も町家が好き！

星間の座敷を立てましょう アダム★ロバーツ(サウス大学)

皆さん、おはようございます。NHKの青山祐子です。3年前に、宇宙人が日本へ来て、色々な経験をして来た事は言うまでもありません。宇宙人さんは我々と話せるようになるとともに、人間のいい特徴が好きになったようです。最近、宇宙人さんは地球の建築に興味を持つようになって、自分の惑星で町家を建ててみているそうです。どうしてこのような事が起こっているかという質問に答える為に、色々な宇宙人さんにインタビューをしました。

37歳のフォーブズワースさん:「人間の世界、面白いなー！実際に、木材が巧妙やと思ってん。ここに来る前に全然見た事あらへんかった！どうやって作るか知ってるの？」

4,682歳の∞(/&@#(ポポロシング)さん:「せや、せやで！今、うちの家で座敷が完成しつつあるんやで。陰影をよく作てんや。でもシシシシ(チャパツイーフォーマさんの惑星)は金が全然ないさかいに、金襴(きんぷすま)が作れへんねん。それで素(すう)の襦を作ったんや！」

4歳の%#@ (ポピポポ)君:「かあさんは人間を信じてへん。」

宇宙人さんは大体日本の建築に感嘆しているそうです。何で関西弁で話しているか分かりませんが、宇宙のどこにでも漂っているUFOで日本の座敷の陰影を見つけられて本当にうれしいです。

ヒラリー・フェンズ(タフツ大学)

岡山の旅行は楽しくて、本当におもしろかったです。笠岡に行きました。その週末、とても忙しかつたけど、新しい経験ばかりでした。一番びっくりしたことは誕生日のため、ホストファミリーにバンジージャンプをさせられたことです。

岡山の最初の晩ご飯を食べる前は、ホストファミリーは土曜日に私に笠岡を案内してくれるつもりでした。でも、このよていは変わりました。

晩ご飯の時、私たちはたくさんお酒を飲みながら、喋っていました。チズというホストファミリーの二十七歳のお姉さんは、英語で、「笠岡の神社は本当につまらなすぎる。明日、そこに行きたくない。ヒラリーの誕生日なんだよ。」と言いました。その時、チズは少しよっていました。

「笠岡の神社がつまらないなら、何をするの」と言いましたが、お姉さんは答えてくれませんでした。

土曜日の朝が来て、みなさんはもうよっていませんでした。ホストファミリーに一時間ぐらい車に乗せられました。着いた時、きれいな山の上に古い遊園地が見えました。えっ？遊園地？「楽しみ」と言いましたが、ちょっと心配していました。お姉さんはニコニコしませんでした。

遊園地に向かって歩いていると、チズは私に「こわい物が好き？」と聞きました。遊園地にいるから、私は彼女の質問はジェットコースターについてだと思っていました。すると、とつぜん、私たちはバンジージャンプの所の前に立っていました。とてもびっくりしました！

お姉さんは私にこれをしてほしがっているんですか？！

「お姉さん、今日は私の誕生日だから、バンジージャンプをしたくない」と言いました。お姉さんの返事はみじかかったです。「誕生日だからこそ、しなさい！」

バンジージャンプをするしかありませんでした。本当にこわかったけど、楽しかったです。一番の誕生日のプレゼントでした。



京町家での授業 写真提供:KCJS(西俣)

## 日本に来てから



アドリ・ライネキ(コーネル大学)

日本に来てからというもの、いくら前に来たことがあるとは言え、私の知らないことでいっぱい状態で毎日をおくって来た。前に来たのは大阪で、同じ関西なのに京都の文化がまた全く違うと知っていたつもりであったものの、実際に住んでみて、初めてそれを実感した。

大学生などと接する時はストレートなやりとりで済むが、50代以上の方と話す時、その人の言うことがどれほど本意でどれほど社交辞令なのかを突き止めようとすると、悩んで悩んで、悩み過ぎて疲れてしまう。

言っている意味がこうだと思いきや、実はその正反対だとか、それを勘違いして、無礼なことと知らずにいってしまうのが怖い。あと、目立つのが元々いやな私は、じろじろ見られるのがいやだけど、仕方がないとは思ひ、慣れてきたから、もう大分無視できるようになった。

とは言え、いやなことばかりという訳でもない。日本で生活をおくれるだけで嬉しいし、とても優しく心広い人にも沢山会えることが出来た。ここに暮らすことだけで毎日が勉強になるし、とても楽しい。

今までの一ヶ月半は本当にあつという間に経ってしまっ、気が付けばここで生活をおくることが当たり前のように思えて来ている。きっとこの一年間は私の一生の宝物になる。

写真提供: KCJS (西俣)

## 過去はユートピア

セシル・デラレンティス(バーナード大学)

どこに行っても、いくらその場所を楽しんでも、結局ニューヨークが恋しくなってしまう。メリーランド州で生まれて、ニュージャージー州で育ったけれど、ニューヨークはなんとなく私のたったひとつの古里だという気がする。

外国に行ったら、皆は「家」がこいしくなるのは当たり前だが、私は普通より「懐かしがり屋」なので、時々自分でその気持ちに圧倒されるほどだ。「普通より」というのは、落ち込んだ時も、つまらない時も、辛い時も私にとってすごく懐かしいという意味があって、友達に変わるとよく言われる。



いずれにしても、現在は毎日ニューヨークの事を考えてしまい、どんな変な思い出が浮かんでも、そんな思い出がもっとも大事な。例えば、とても暗い機嫌で一人で映画を見に行った時さえも今は懐かしい。といっても、アメリカに帰ったら、「なぜ帰らなかったのか?! 日本が恋しい!」と必ず思うだろう。

実は、残念ながら、私ぐらいの懐かしがり屋は「現在」というものがすっかり楽しめる事はなくて、少し困っている。孔子が過去はユートピアという発想を持った事を習ったことがあるが、私はこれに全く賛成である。

写真提供: KCJS (西俣)

## はぶ酒はいかが？

デレック・アーサー(コロンビア大学)

私は9月30日から10月2日まで始めて岡山の山間にある北房という町に行って、坂本さんというお宅に泊まらせていただきました。三日間しか一緒にいませんでしたが、始めから打ち解けました。

その週末は初めての経験がたくさんありました。その中で一番面白かったのは金曜日の晩ご飯の時に起こったことです。私と他のKCJSの学生は家のお父さんにお酒をいただきました。にんにくの匂いがあつたけど、私たちはそのお酒を飲んでみました。実は味がちょっと変でしたが、おいしいということにしました。お父さんがびんを持ってきてくれて、私たちが中を見るとまだ生きているへびがいました。お父さんによると、その「はぶ酒」というお酒は男の人の健康のためにいいそうです。事実かどうか分かりません。なぜにんにくの味があるか聞きました。そこにいた男の人はへびの毒の匂いと味が強いから、にんにくとうめをお酒に入れたと言いました。でも後で、にんにくが入っていないはぶ酒を飲んでみて、最初のよりおいしいと思いました。

本当にびっくりしたけど、とても珍しくて、面白い経験でした。珍しいからこそ、チャレンジしたのです。みなさんも機会があれば、ぜひ飲んでみてください。

# 宝塚歌劇団—独特な文化を味見する

スコット・パークス(スタンフォード大学) 【文、写真】

日本独特の文化は世界中の人々に知られている。アメリカ人の視点からはたまに少し不思議に見えながらも、多くの KCJS のメ学生を日本に招いた、魅力あるスポットも多い。その不思議に見えつつも魅力的である文化の一つとして、いわゆる宝塚歌劇団がある。

男役、娘役、羽根扇、光り輝いている衣装、歌、踊り、そして溢れるかっこよさ。アメリカのラスベガスやブロードウェイに似ているとはいえ、6人の KCJS の留学生と3人の日本人が10月29日に経験した宝塚の歌劇は世界の中で独特と言えるに違いない。公演の題名は『クラシッコ・イタリアーノ』と『Nice Guy!!』だった。私たちが思ったとおり、観衆はほとんど女性だった。同様に、私たちのグループの3分の2も女性だった。しかし、女性向けの公演だからといって、女性だけが楽しめるとは限らない。言葉が全部分からなくても、全員、男女ともに歌劇を楽しんだようだ。この宝塚の経験は忘れられない貴重な記念になったのだ！



KCJS2011 秋学期 同志社大学今出川キャンパスにて

KCJS ニュースレターに関するお問い合わせは、[tn2230@columbia.edu](mailto:tn2230@columbia.edu) (西俣) まで



KYOTO CONSORTIUM  
FOR JAPANESE STUDIES  
京都アメリカ大学コンソーシアム